

○特に凍結しやすい場所は？

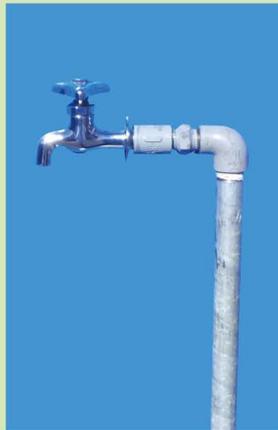
- ・北向きで日陰にある水道管やメーター
- ・**むき出し(露出配管)**になっている水道管
(ボイラー・ユニエターの配管なども)
- ・風当たりが強い場所にある水道管や器具
- ・屋外にある蛇口や水栓柱



露出配管からの漏水状況

○凍結を防ぐには？

- ・露出配管に**保温材**を巻き付けます。
保温材はホームセンターなどで購入できます。
代用でタオル・毛布などを巻いて、ぬれないように上からビニール等を巻く方法もあります。
雨水などにぬれて凍らないように、隙間がないようにビニールテープ等でしっかり巻きます。



露出配管状況



保温材を巻きます



保温状況



タオル等で代用

写真は鋼管ですが、塩化ビニール管、ポリエチレン管などの露出配管も凍結しやすいようです。適切に保温しておきましょう！

○メーターは？

- ・メーターボックスの上にダンボールや断熱材のシートを乗せておくと保温できます。
なお、2か月に一度検針を行いますので、強い冷え込みが予想されるときだけお願いします。



メーターボックス



○凍結してしまったら？

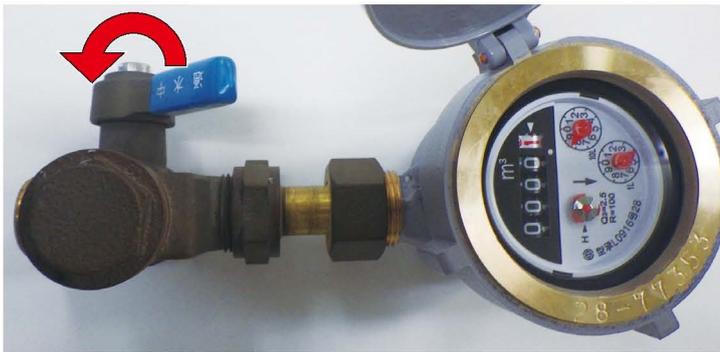
・ぬるま湯をかけます。

凍った部分にタオルや布をかぶせて、**ぬるま湯**をゆっくりかけて溶かします。

熱湯をかけると破損することがありますので、注意してください。

○破裂してしまったら？

・水道管が破裂したときは、まず、メーターボックス内の**バルブを閉めて**水を止めてください。
市指定の給水装置工事店、又は※給水工事センターに修理を依頼してください。



メーターボックス内のレバーをメーターの反対側に倒すと水が止まります。ハンドル式の場合は右に回すと止まります。

※給水工事センター

連絡先 0957-54-3169

営業時間(平日8時から17時)

緊急時電話対応 (24時間)



オススメ!

長期に留守にされるときや、普段あまり水を使用しない場合はバルブを閉めておくと安心ですね!

○修理の費用負担は？

・水道本管から分岐して家庭まで引き込まれた給水管、止水栓、メーター、蛇口までを給水装置といいます。メーターを除いて所有者の財産となります。

メーターまでの漏水修理に限り上下水道局で費用を負担しますが、**メーターから先**の水道管破裂や老朽化による漏水などの修理費用は**使用者又は所有者の負担**となります。

